

コロナ危機から 命とくらしを守る

市議（清水区）

内田

りゅうすけ

日本共産党

日本共産党は「苦難軽減」の立場で、市民と一丸となって、コロナ危機をのりこえるために力をつくします。

PCR検査をいつでも、どこでも、何度でも無料で
医療、介護、教育、保育などの施設でのPCR検査を全国国の負担で。

困っている人すべてに直接支援を

市の「エール」事業は一回だけにせず、何度でも。支援の対象も事業者だけでなく、学生や女性をはじめ、困っている人すべてに。

保健所の体制強化

ワクチン接種にもそなえ、保健所の人員増、体制強化。保健所をすべての区に。

水道料金の減免を

共立蒲原総合病院、清水厚生病院など
統廃合計画は中止を

消費税5%へ減税を

コロナ対策を市へ提案



5回の申し入れで実現

- ・ワンストップ相談窓口の設置
- ・大型事業凍結でコロナ対策
- ・ドライブスルーのPCR検査センター拡充
- ・全事業者への支援金。無利子・無保証料での融資

お困りごとにはご相談ください

プロフィール 1953年長崎県伊王島生まれ、長崎県立浦高卒業、日本郵政清水造船所（三保）入社。不当配転拒否を理由とする解雇にたいし15年間の裁判闘争、最高裁で和解。清水民主商工会に勤務。市議7期。

<http://www.jcps.jp/>

コロナ危機のりこえくらしに希望を

日本共産党の提案

学校給食の無償化
まず半額に

新清水庁舎は津波浸水想定区域外へ移転を

自然災害対策の
抜本強化

妊産婦医療費助成

バス路線の拡充
交通弱者への支援を

返済不要の
奨学金制度を

国保財政への支援を
強め、高すぎる
国保料引き下げ

公契約条例で、
適正な賃金を保障する

補聴器購入に補助を

住宅・商店リフォーム
助成制度で経済活性化

こんな市政でいいの

津波浸水想定区域への
清水庁舎移転・建設の是非を問う
住民投票条例案を否決
5万筆以上の署名で直接請求した条例制定に自民党、公明党、志政会が反対。

負担増
斎場利用料有料に
無料から1人1万円に。
霊柩車利用料も値上げ。
水道料金値上げ

切り捨て
敬老祝い金カット
私立保育園への
補助カット

清水庁舎移転、水族館は凍結から白紙へ